

Masterpieces from the Fujita Museum:
A Brilliant Universe Reflected in a National Treasure
Yohen-Temoku Tea Bowl and Buddhist Art

2019年
4月13日(土)～6月9日(日)

休館日 毎週月曜日(5月7日(火))
※ただし、4月29日(月・祝)、5月6日(月・振替)は開館
開館時間 午前9時30分～午後5時
毎週金曜日は午後7時まで※入館は閉館の30分前まで
(名品展は開館時間が異なります。詳しくは当館ホームページをご覧ください)
主催 奈良国立博物館・朝日新聞社・NHK奈良放送局・NHKフナト近畿
特別協力 藤田美術館
後援 文化庁・奈良県教育委員会・奈良市教育委員会・奈良テレビ放送
大阪商工会議所
協力 ダイキン工業・大成建設・ライブアート・フックス
日本香堂・藤田観光・仏教美術協会

奈良国立博物館
Nara National Museum

〒630-8213 奈良市登大路町50番地(奈良公園内)

藤田美術館展

曜変天目茶碗と仏教美術のきらめき

国宝の殿堂

観覧料金 ※料金はすべて税込み

	一般	高校・大学生	小・中学生
当日	1,500円	1,000円	500円
前売・団体	1,300円	800円	300円

* 団体は20名以上
* 前売券の販売は3月13日(水)から4月12日(金)まで
* 障害者手帳をお持ちの方(介護者1名を含む)は無料
* 本展の観覧券で名品展(なら仏像館・青銅器館)もご覧になれます。

販売場所 当館観覧券売場、近鉄主要駅、近畿日本ツーリスト、JR東海ツアーズ、PassMe!、dトラベル、日本旅行、ローソンチケット(Lコード:53880)、チケットぴあ(Pコード:769-466)、イープラスなど主要プレイガイド、セブン-イレブン他コンビニエンスストア

※チケットの購入時に手数料がかかる場合もあります。

特別チケット ※料金はすべて税込み ※券種はすべて一般のみ

早割ペアセット券 2,000円

本展の観覧券(一般)2枚がセットになった、販売期間限定のチケットです。展示替えに合わせてお1人で2枚、またはご家族・ご友人と1枚ずつでもご利用できます。一般当日券2枚分より1,000円お得です。

藤田美術館展の一般観覧券2枚

販売期間 2月13日(水)～3月12日(火)

販売場所 ローソンチケット、チケットぴあ、イープラス

曜変天目茶碗フィギュア根付セット券 2,000円

本展の観覧券(一般)1枚に本展オリジナルグッズの根付がついた、数量限定のお得なチケットです。藤田美術館が所蔵する国宝「曜変天目茶碗」を口径約4センチのミニチュアフィギュア(写真はサンプル)で表現しました。 限定500セット

藤田美術館展の一般観覧券1枚 + グッズ引換券

販売期間 3月13日(水)～4月12日(金)

販売場所 ローソンチケット、チケットぴあ、イープラス

※本展観覧券とグッズ引換券が別々に発券されます。両方をお持ちください。
※グッズは展覧会会期中、会場入口にてお引き換えください。
※グッズは会場の特設ショップでも販売する予定です。

相互割引企画

「国宝一遍聖絵と時宗の名宝展」
2019年4月13日(土)～6月9日(日)
京都国立博物館
×
「国宝の殿堂 藤田美術館展」

本展と、「国宝一遍聖絵と時宗の名宝展」(京都国立博物館)の会期中、会場の券売窓口でチケットないし半券を提示すると、一般のみ当日券が200円引きになるお得な相互割引を実施します。

詳細は【京都国立博物館サイト】<https://www.kyohaku.go.jp/>



奈良国立博物館
Nara National Museum

〒630-8213
奈良市登大路町50(奈良公園内)
ハローダイヤル:050-5542-8600

奈良国立博物館ホームページ <https://www.narahaku.go.jp/>

ふじなでんごふろう
藤田傳三郎(1841～1912)

幕末の長州・萩(現山口県萩市)に生まれました。明治初頭から大阪で事業を興し、土木建築、紡績、鉄道、電気、新聞など、近代日本の基礎となった産業に、また大阪財界の発展に大きな功績を残しました。事業に邁進する一方で、古美術、特に茶道具に対する鑑識眼は卓越しており、能や茶道をはじめ、日本文化を愛好する文化人でもありました。明治維新後の社会変動により、仏教美術品をはじめとする歴史的な文化財が海外に流出していることを憂慮し、膨大な私財を投じて美術品の収集と保護に努めました。



イベント

公開講座

- ①「藤田傳三郎と藤田美術館 伝統と未来」
藤田 清 氏(藤田美術館館長)
4月20日(土)
- ②「国宝 曜変天目茶碗の謎にせまる」
小林 仁 氏(大阪市立東洋陶磁美術館学芸課長代理)
5月11日(土)
- ③「藤田美術館の仏教美術コレクション」
岩井 共二(奈良国立博物館学芸部情報サービス室長)
5月25日(土)

時間:午後1時30分～3時(午後1時開場)

会場:当館講堂

定員:各回194名

聴講無料

※各日12時から講堂前にて入場整理券を配布します(先着順、お1人様につき1枚)。

入場整理券の受取の際には本展の観覧券もしくはその半券、奈良博プレミアムカード等をご提示ください。

※入場受付は講座開始後30分で終了いたします。

親子ワークショップ

「オリジナル絵巻を作ろう」

日時:5月5日(日・祝) ①午前10時～12時 ②午後1時30分～3時30分

会場:当館地下回廊

定員:各回18組

※参加は無料ですが、本展の観覧券が必要です。申し込みは当館ホームページから、先着順で、定員になり次第、締め切ります。

そのほかのイベントは、決まり次第ホームページでご案内します。

MIHO MUSEUM、静嘉堂文庫美術館、
奈良国立博物館で、国宝「曜変天目」
三碗 同時期公開!



国宝 曜変天目 京都・大徳寺龍光院



国宝 曜変天目(「稲葉天目」)
東京・静嘉堂文庫美術館

「大徳寺龍光院
国宝曜変天目と破草鞋」
MIHO MUSEUM

2019年3月21日(木・祝)～5月19日(日)

「日本刀の華 備前刀」
静嘉堂文庫美術館

2019年4月13日(土)～6月2日(日)

3館を巡る相互割引もあります! 詳細は各館ホームページへ。

表:国宝 曜変天目茶碗(部分)、国宝 仏功德時経箱(部分)
すべて大阪・藤田美術館

藤田美術館所蔵 国宝 全9件を公開

大阪市の中心部にある藤田美術館は、国宝9件、重要文化財53件を含む世界屈指の日本・東洋美術のコレクションを所蔵する美術館です。明治期に活躍した実業家・藤田傳三郎（1841（1912）とその息子平太郎、徳次郎の親子3人によって収集された美術工芸品を公開するため、昭和29年（1954）に開館しました。

約2千件におよぶコレクションは、茶道具、水墨画、墨蹟、能装束、絵巻、仏像、仏画、経典、仏教工芸、考古資料など多岐にわたり、その中には奈良にゆかりのある仏教美術が数多く含まれています。このたびの展覧会は、2022年春に予定されるリニューアルオープンの準備に向けて現在休館している藤田美術館の名品を奈良国立博物館新館の全展示室を使用して紹介するかつてない規模の展示となります。

世界に三碗しか存在しないと言われる国宝「曜変天目茶碗」をはじめ「玄奘三蔵絵」「両部大経感得図」「囉麦天目茶碗」をはじめ「玄奘三蔵絵」「両部大経感得図」「仏功徳蒔絵経箱」などの仏教美術を中心に、館外初公開を含む多彩なコレクションを紹介します。

膨大な私財を投じて、近代以降散逸の危機にあった文化財を収集し、国宝の殿堂と呼ぶにふさわしいコレクションを築いた藤田傳三郎らの功績にも光を当てていきます。



国宝
ようへん てん もく ちゃ わん
曜変天目茶碗 中国・南宋 〈全会期展示〉

現存するものは世界に三碗（京都・大徳寺龍光院蔵、東京・静嘉堂文庫美術館蔵、大阪・藤田美術館蔵）しかないと言われる名碗です。瑠璃色の曜変と呼ばれる斑文は、まるで宇宙に浮かぶ星のように美しい輝きを放ち、優麗な華やかさを誇っています。このような文様が現れる理由は、未だに完全には解明されておらず、再現は不可能とされています。藤田美術館所蔵の本品は、徳川家康が所蔵し、これを譲り受けた水戸徳川家から藤田家に入り、今日に伝えられた国宝中の国宝で、これまで数度しか館外に出たことのない至極のコレクションの一つです。

絵巻



国宝
しやくしきぶじにきつし
紫式部日記絵詞 鎌倉時代
〈展示期間 5月14日～6月9日〉



国宝
げんじようきんさう
玄奘三蔵絵 鎌倉時代
〈全12巻のうち4巻を展示〉
巻第1・2・4月13日～5月12日
巻第3・4・5月14日～6月9日



国宝
りふふだいぎやうかんとうく
両部大経感得図 平安時代
藤原宗弘筆
〈展示期間 4月13日～5月12日〉

仏画

漆工品

仏典

水墨画

国宝

柴門新月図

室町時代

応永十二年（1405）

〈展示期間 4月13日～5月12日〉



下方に描かれた絵の画面にちなんで漢詩を寄せ書きした掛け軸で、詩画軸は禅僧の間で流行しましたが、これはその現存最古の作例です。



国宝
かちようまき えきようしやく
花蝶蒔絵挾帙 平安時代
〈展示期間 5月14日～6月9日〉

挾帙は体の手前に置く肘つきです。表面の仕上げには金と錫を使った蒔絵が施され、蒔絵の初期の作例として貴重です。薬師寺の八幡宮に伝来したといえます。

仏功徳蒔絵経箱

平安時代
〈展示期間 4月13日～5月12日〉

経巻を入れるための木製の箱。側面には、法華経の説話の場面が蒔絵で描かれています。保存状態も良好で平安時代の蒔絵として貴重です。

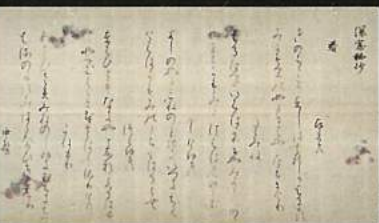


古筆

国宝

深窓秘抄

平安時代
〈巻き替えあり〉



仏教美術を中心に、名品の数々を紹介！

館外初公開

仏像彩画円柱

鎌倉時代



奈良・西大寺伝来とされる全長3メートルの柱です。全部で8本あり、仏堂内陣の柱と思われ、制作当初の彩色がよく残る点でも貴重です。

重要文化財

交趾大亀香合

中国明

亀の形をした香合で、千利休ゆかりの品と伝えられます。藤田傳三郎が長きに渡り憧れ続け、亡くなる直前に入手した品です。



重要文化財

地藏菩薩立像

快慶作

極彩色に彩られた地藏菩薩の像です。足柄に「法眼快慶の銘」があります。繊細かつ優美な快慶晩年の作風がよく表れています。

